

# 地域資源をアピールするまちづくり

H25年4月19日(金)

玉島市民交流センター

## 【主なご意見】

- 地域資源をアピールするために、交通の流れをよくしてほしい。(国道2号線の片側2車線化を)
- 玉島の地場産業のたるまと地元で生息している絶滅危惧種のダルマガエルをかけた「ダルマガエルたるま」を作って、地域資源にしたいと思っている。
- 玉島には文化の誇れるものが多くあるので、アーティストを呼んで新しいものと古いもの、文化財や文化に人がからんでいけるよう支援してほしい。
- 玉島市民交流センターの歴史民俗海洋資料館の高瀬舟を地元の住民で作っていきたい。
- 人材、人がいかに生きていくかという中で、子どもの教育・高齢者の生きがい・地域のつながりを大切に、人材が地域の資源。
- 玉島といったら港。ハーバーアイランドを生かして客船を呼んだらどうだろうか。
- 玉島の港に係留している県北のボート所有者に、魚をとって帰るだけでなく、お金を落としてもらえるよう、港を活用してはどうか。
- 観光と産業がリンクしながらできたら良いと思う。
- 高校で地元のジーンズ生地を使って衣服や鞆を作って、販売し、東北に義援金を送っている。
- 「八重の桜」のようにテレビで放送されたら、観光にくる方のため、看板など早く設置し、PRが遅れないようにしないとイケない。
- 地元の高校で学んだことを地元で留まって、地域に還元できるようなシステム・挑戦できる町にしてほしい。
- 市長のトップセールスをそれぞれ地域のギフト期に間に合うようにしてほしい。
- 学生として初めて参加し、地域のことがよくわかり、情報収集できる機会となった。